

## デ・ニムの日に呼びかけ 「はいてごらん、ジーンズ」

岡山県は国産ジーンズの発祥の地とされています。

ジーンズはアメリカ発祥の衣服ですが、日本の藍染めの伝統、デザイン仕様の的確さ、洗い加工の先端的技術などの周辺技術にも支えられて、今や「ジャパン・ジーンズ」として世界的にも評価されています。

海外に目を向けると、アメリカでは職場でジーンズを許容する動きが広がり、連帯意識を高める効果もあるといわれるジーンズは大いに隆昌しています。日本ジーンズ協議会ではビジネス環境、職場での着用の機会を増やそうとベストジーニストアワードなど様々な施策を推し進めています。

弊社の創刊140周年だった昨年、岡山デニムの魅力を全国に発信しようと「LIFE IN DENIM OKAYAMA」企画を通年で取り組みました。この企画では、岡山市出身のタレントのブルゾンちえみさんに賛同いただき、9月26日には東京支社が入る日本プレスセンタービル館内で撮影やメディア各社の取材対応を行い、その様子は本紙とともにネットを通じて多様な媒体に発信され、大きなムーブメントになりました。

語呂合わせで「デ・ニム」になる10月26日付の15段カラー二連版を皮切りに、10月28日付からは15段カラーで「着回しDIARY」と題してデニムの着こなしを紹介する紙面を展開し、ジーンズストリートとしてインバウンドを含めた集客が増加中の倉敷市児島地区では、中国銀行児島支店でデニムの着用を実施。これまで児島の陰に隠れがちだったデニムの一大産地・井原市でも、今年2月4日から六日間、近隣のデニムメーカーとイタリア・ミラノのセレクトショップ「TENOKA MILANO」で商品展示会を初開催し、インバウンド集客に一役買っています。